



日本労働組合総連合会
山梨県連合会 (略称 連合山梨)

No.341 2019.11.13

次の飛躍へ 確かな一歩を

れんごう

YAMANASHI

10
25
FRI

連合山梨 第31回定期大会を開催

連合山梨は10月25日(金)セレス甲府(旧アピオ)において基軸大会となる第31回定期大会を開催し、2020～2021年度の向こう2年間の運動方針と新たな役員体制を承認・決定し新年度のスタートを切りました。

今年は連合山梨結成30周年を迎え、大会終了後に連合山梨結成30周年記念レセプションを開催することから、ご来賓の皆さま方にはレセプションで挨拶をいただくこととし、大会は来賓なしでの開催としました。

萩原会長による挨拶の後、議長のはからいにより第1号議案「オブザーバー加盟の承認」について提案され満場一致で承認されました。今回オブザーバー加盟された組織「富士急バス労働組合」「山梨交通甲府観光労働組合」の代表者からそれぞれご挨拶を受け、112名の仲間入りを歓迎しました。その後、議事に入り2019年度活動報告・決算報告・監査報告及び剰余金処分(案)について提案・報告がされ、満場一致で承認されました。

次に第2号議案「2020～2021年度運動方針(案)」、第3号議案「2020年度予算(案)」が一括提案され満場一致で承認されました。続いて第4号議案「役員を選出」、第5号議案「顧問の委嘱」、第6号議案「大会特別決議(案)」を構成員全体で承認した後、大会宣言を採択し、萩原雄二会長の音頭による団結ガンパローを三唱して大会を締めくくりました。



退任役員(敬称略)

会長代行	久保寺成典(JP労組)
副会長	齊藤 伊人(JAM)
副事務局長	伏見 勉(連合山梨)
執行委員	鈴木 幹雄(電力総連)
執行委員	三井 聡(情報労連)
執行委員	早川 新(東部地協)
会計監査	持宝 美宣(森林労連)

これまでのご尽力に対しまして
心より感謝申し上げます。

萩原会長挨拶(要旨)



● 組織強化に関連する活動

連合運動強化特別委員会で議論されている、連合・構成組織・地方連合会の運動領域の再検討と最適化、地方連合会と地域協議会の運営体制、労福協との役割分担、人財の確保と育成、新たな加盟形態、会費徴収基準や、そもそもの財政改革など、より具体的にそして中央から地方へと論議を進めていく年度となる。特に関係する部分には地方として論議を深めていく。

組織拡大では、2019年度は75名の純増となったが、減少傾向に歯止めがかかったとは言い切れない。

山梨県の組合組織率は約11.7%。多くの働く仲間、そして私たちがめざす真の働き方改革を“山梨の地方として”実現していくためにも、外に対しての様々な行動力と発信力をより高めていく。

山梨県の組合組織率は約11.7%。多くの働く仲間、そして私たちがめざす真の働き方改革を“山梨の地方として”実現していくためにも、外に対しての様々な行動力と発信力をより高めていく。

● 私たちの暮らしに関係する活動

2020春季生活闘争の具体的な方針は12月3日の中央委員会で確認されるが、引き続き、ベア、あらゆる格差の是正、働き方改革の前進などを求めることになる。現在は2019年人権闘争も進行中だが厳しい状況である。すべての働く者の暮らしの底上げに向けて、官民総がかりで活動を前進して行く。

私たちの暮らしと政治を切り離して考えることはできない。

選挙イヤーの本年、それぞれの選挙に全力で取り組んでいたことに感謝申し上げる。

新知事の評価はこれからだが、自民党と歩む行政の長は“よし”とはできない。国政は一強政権が続き、野党共同会派は実現したものの未知数、今後の行動を見極めていく。そして、私たち働く者・生活者も、もっともっと政治・選挙に関心を持っていかねばならない。

あの手この手、皆さんとより真剣に話し合っていかなければ手遅れになる。

暮らしの側面でもうひとつ、暮らしの安心と保障である。人生100年時代、生涯にわたる生活設計、財産資産の安心運用、そして有事の際の様々な保障は、労働組合として極めて重要な取り組みであり問題や災害が起きてからでは間に合わない。私たちの“しつこい”位の取り組みが、結果として、組合員の暮らしの安心と保障を実現する。

● 30周年記念事業について

今年に入り、幾つかの記念事業を行ってきており、大会終了後に30周年のレセプションも開催する。この30周年事業は、組合員を対象とした文化・教育事業、環境・助け合い・交流などに類するボランティア事業、30周年記念誌の発刊など、新年度に入ってもしばらく続く。現在具現化中のものもあるが、結成30周年をひとつの標とすべく、引き続きの協力をお願いする。

〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目7-17 労農福祉センター内
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189

URL: <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>
E-mail: info@yamanashi.jtuc-rengo.jp

発行人 窪田 清

Facebook
いいねしてね!

連合本部フェイスブック



連合山梨ホームページ



県産材利用促進



もりかみくん

第31回定期大会 代議員発言及び答弁

第2号議案

2020～2021年度運動方針(案)

運輸労連

水上 雄一郎 代議員

自動車運転業務の一般則の適用に向けた議論が早期に行われるよう要請



「働き方改革関連法案」が4月に施行され、労働時間に関する制度が見直された。長時間労働の是正として、一般則に時間外労働の上限規制が導入されたが、自動車運転者は適用除外となっており、引き続き長時間労働のままにある。

運輸労連は、改善基準告示における年間最大拘束時間「3,516時間」を短縮「3,300時間」に向けた運動を展開しているところだが、厚労省の労働政策審議会「労働条件分科会」では、未だに議論されていない。自動車運転業務の改善基準告示の総拘束時間の短縮等が、法施行の5年後ではなく、早期に自動車運転業務の一般則の適用に向けた議論が行われるよう、連合本部を通じ労働政策審議会において付帯決議の早期実現と自動車運転業務の一般則化を強く要請していただきたい。

また、トラック運輸産業の労働環境改善に向けた取り組みとして、国土交通省・経済産業省・農林水産省が主体となり、「ホワイト物流」推進運動がおこなわれている。この運動は荷主企業と物流事業者の相互で協力し国民運動として展開している。われわれ運輸労連としても、実現に向け行政・業界に対し要請していくので、連合山梨も更なるバックアップをお願いする。

答 弁

窪田 清 事務局長



ご意見についてはまったくその通りと連合としても認識をしている。働き方改革関連法が施行されても自動車運転者については、残業時間上限規制の適用外となっており、今後も連合本部と連携しながら、一般則化を目指して要請して行く。

また、「ホワイト物流」推進行動への理解について連合としても、様々な機会を通じて組合員への周知にも取り組んで行く。

「ホワイト物流」推進運動について

深刻化するトラック運転手の不足に対応するため、国土交通省が提唱したもの。物流の安定確保を図るため、主にトラック輸送の生産性の向上・物流の効率化と、女性や60代以上の運転手も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現を目指すことが目的。その背景には、出荷元・納品先での待ち時間が長いことによる長時間労働や、積込・積降し等荷役作業の肉体的負担などがあることによる。これら荷待ち時間や荷役作業時間の長さ、荷役作業の負担の改善には、出荷元や納品先での物流業務を効率化することが欠かせない。そこで、物流事業者と、荷主企業や納品先企業などの物流の利用者が相互理解の下に連携して、物流の効率化や生産性向上に向けての取組みを広げていくことが求められている。

連合山梨第16期役員体制

(2019.11～2021.10)

役 職 名	氏 名	構成組織名
会 長	萩原 雄二	電機連合
会長代行	田中 好久	自治労
副 会 長	藤田 益孝	電機連合
	小串 吾郎	日教組
	佐々木 琢郎	UAゼンセン
	杉原 孝一	J A M
	木内 清一	J P 労組
	中田 一秀	電力総連
	坪井 茂	情報労連
事務局長	窪田 清	電力総連
副事務局長	廣瀬 信一	自治労
	福井 太一	日教組
	白倉 範人	情報労連
執 行 委 員	土橋 大輔	自治労
	大森 竜	電機連合
	植松 久雄	UAゼンセン
	櫻井 澄人	J A M
	池本 伊左男	J P 労組
	野口 良朋	電力総連
	向井 仁志	情報労連
	若月 清人	自動車総連
	田草川 厚彦	運輸労連
	植松 陽二	J R 総連
	早川 貴宏	全水道
	宮下 竜三	私鉄総連
	辻 由樹	女性委員会(日教組)
	田辺 優子	女性委員会(自治労)
	前田 宝	東部地域協議会
	弘瀬 誠	中部地域協議会
	土橋 一光	西部地域協議会
会 計 監 査	岩下 実	運輸労連
	刑部 聡	全労金
	藤原 和也	森林労連



連合山梨は1990年1月26日に結成し、変化の激しい昨今にあって無事30周年を迎えることができました。これまでの長い道のりの中では、言葉では言い表せない苦楽もあり、改めて歴史の重みを感じました。結成30周年記念レセプションにはご来賓の皆さまをはじめ、歴代役員、現役員含めて総勢243名のご臨席をいただき、思い出話に花を咲かせ終始なごやかな雰囲気での開催ができました。

10月2日 WED **最低賃金** の周知行動

10月1日より山梨県の最低賃金は **837円** (時給)



山梨県の最低賃金の改定につきましては、山梨地方最低賃金審議会における議論の結果、時給換算で837円(昨年より27円アップ)にて結審し、本年10月1日(火)より適用されております。

そこで連合山梨役員23名参加の下、最低賃金の改定に対する周知とその遵守を訴えることを目的として、甲府駅前にてチラシ入りのポケットティッシュ2000個の配布を行いました。

連合山梨は引き続き、最低賃金の引き上げとその遵守に向けた取り組みを行ってまいります。



10月5日 SAT **連合山梨 ボランティアサポートチーム**

スキルアップ講座を開催

10月5日(土)山梨県防災安全センター(中央市)において、17名の参加により2019連合山梨ボランティアサポートチームのスキルアップ講座を開催しました。

自然災害が多発している昨今、万が一、自然災害等に遭遇した場合の対応として、平常時からの防災に対するスキルを身に付けておかなければなりません。

今回のスキルアップ講座は、座学として日頃の備えに対する考え方や危機意識の持ち方、身の回り品を活用しての災害対応などを始め、実技では「一時救命(止血・骨折固定・心肺蘇生法)」、「機器の取り扱い(AED・ロープワーク・三角巾、消化器)」等について、そして「地震体験、煙体験」等も経験できたことは、日頃薄れがちな防災意識に対する良い機会となりました。連合山梨ボランティアサポートチームとして、そして個々人の防災スキルを高める事が出来たことは、家庭や組織、地域において災害・防災ボランティアリーダーとしての裾野を広げられた講座となりました。



10月8日 TUE **官公部門連絡会**

山梨県独自の勧告を勝ち取るための総決起集会を開催



10月8日(火)、県の人事委員会勧告に向け、対県共闘会議(県職労、山教組、梨高教)、自治労山梨県本部、連合山梨官公部門連絡会の三者が主催する合同決起集会が行われました。今年度は昨年度と場所を変え、甲府駅北口よっちゃばれ広場にて、民間労組の方々も含め約450人もの働く仲間が集結する中での開催となりました。

自治体職員や教職員も一人の労働者です。行政や教育に求められる複雑化・多様化したニーズに応えようと、自身やご家族の時

間を削って第一線で対応していることが正当に評価されなければなりません。また、山梨県の経済を支えている中小地場産業の皆さんにも、人事委員会勧告が大きく影響します。公務員の人勸と民間の春闘の結果が互いに影響し合っていくため、県民の生活・県内の景気に大きく影響する勧告であるという「緊張感」をもって勧告を出すよう、適切な対応を強く求めています。

官公部門連絡会 議長 小串 吾郎

当選御礼

【**韮崎市議会議員選挙**】

9月29日(日)投開票

投票率57.24%

677票(11位/定数16)

(立候補18)



皆様のご支援に
感謝申し上げます

きうちよしひで
木内吉英氏

国民民主党 現職2期
1970年2月21日生まれ(49歳)



2018～2019「山梨県への政策制度要求と提言(補強版)」を実施

連合山梨は、10月30日(水)「山梨県への政策制度要求と提言」を行いました。本年度の提言は、2018～2019年度の提言(補強版)として、①経済・雇用・労働政策9項目、②福祉・男女平等・暮らし政策9項目、③教育・環境政策4項目の22項目の提言書となっています。冒頭萩原会長より長崎知事に要請書を手交し、この要請書は、「働く者の立場と生活をする立場から真剣に考えまとめた内容であり、すべてが重要な項目である」として、県政への反映を強く要望しました。窪田事務局長より、本年度の特徴的な項目について説明を行った後、意見交換では、全国的な問題となっている教職員の働き方改革と子供たちが公平に教育が受けられる環境づくりについて要望しました。長崎知事から連合結成30周年への祝辞が述べられ「連合山梨からいただいた意見については、今後部局とも相談しながら、反映できる部分については反映していく」との挨拶を頂きました。



回答については2020年3月末までに受けることとなっています。

地域協議会の活動



西部地協 第13回定期総会を開催 地域に顔の見える運動を!

10月31日(木)中巨摩教育会館において、連合山梨萩原会長をはじめ多くのご来賓と、構成組織の代議員、地協・地区協役員80名参加のもと「西部地協第13回定期総会」を開催しました。

冒頭、長田議長は「2019年は選挙イヤーの年であり、地協・地区協の皆様には、色々な面でご支援・ご協力頂き改めて感謝申し上げます」と挨拶しました。

総会では、2019年度の経過報告・決算報告ならびに2020年度活動方針、予算、新体制が原案通り承認され新年度がスタートしました。

西部地協では「地域に顔の見える運動」をスローガンとして、地域で主体的な運動体の確立を目指し、「組織拡大」、「政策制度実現に向けた取り組み」、「組合員相互の親睦」、「ボランティアの参加」等を中心に活動を進めていきます。

連合山梨西部地協 事務局長 土橋 一光

11/1 FRI 中部地協 第14回定期総会を開催 組織内の連携を密にして活動する!

11月1日(金)労農福祉センターにおいて、中部地協第14回定期総会を開催しました。

有泉議長は冒頭の挨拶にて、多発する自然災害へのお見舞いと、2019年各種選挙への協力御礼、そして提案する運動方針への込めた思いを述べました。

総会では、2019年度の経過報告・決算報告ならびに2020年度活動方針、予算、役員体制が原案通り承認され、役員体制では7名がフレッシュな顔ぶれとなり新年度がスタートしました。

【2020年度活動方針(要旨)】

- 1、連合組織内の連携を強化するための活動を行う
- 2、地域で働くすべての仲間を支えるための活動を行う
- 3、連合組合員が地域活動に参加し、つながる機会を提供する



連合山梨中部地協 事務局長 弘瀬 誠

やまなし労福協



第34回チャリティゴルフ大会



山梨県労福協第34回チャリティーゴルフ大会を10月3日(木)にC・Cグリーンバレーに於いて行いました。当日は台風の影響で天気が心配されましたが、112名の参加をいただき盛大に開催されました。(チャリティー金は、山梨県社会福祉協会を通じて「山梨ともしび基金」に寄付します)

大会結果

- | | | |
|-------|-----------------|----------------|
| 👑 優勝 | 五味 始(日立AMS OB) | 【ベストスコア】 |
| 👑 準優勝 | 斉藤 一利(日立AMS OB) | 澤田 正(日立AMS OB) |
| 👑 3位 | 澤田 正(日立AMS OB) | グロス76 |